事務事業 No./名称	■サービス部門 都整-35 下水道使用料等賦課徴収事業 □支援部門						
主管課	下水道河川課	関連課	道水路管理課				
分野名	下水道・河川						
目標 (目標値)	公共下水道の使用料、受益者負担金、受益者分担金及び占用料を適正に徴収する。						
人口等のデータ	データ区分	25年度	24年度	23年度	備考		
	人口	177,895人	177,224人	177,204人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世帯数	80,295世帯	79,669世帯	79,217世帯			
	事業の対象者数	156,359人	156,339人	155,898人			
事業の対 象者数	156,359人	156,339人	155,898人				
運営資源状況	決算値(千円)	101,141	120,106	110,375	平成24年度決算値 は、 政策的経費(コード 1445) 16,068千円含む		
	(国・県)						
	(負担金等)						
	(一般財源)	101,141	120,106	110,375			
	人員配置数	3.3人	3.3人	3.3人			
	人件費(千円)	25,981	26,575	28,815			
協働のパートナー							
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	127,122	146,681	139,190			
	市民1人当りの経費(円)	715	828	785			
	対象者1人当りの経費(円)	813	938	893			
ベンチマーク(県内 外自治体や民間団体 との比較値)	団体名→	平塚市	藤沢市	逗子市	茅ヶ崎市		
	H24年度 使用料徴収率	97.5%	85.0%	97.2%	100.4%		
指標	評価	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	最終年度(27年度)
下水道使用料徴収率	○	目標値	100%	100%	100%	100%	100%
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値	97.81%	97.42%	97.55%	97.47%	

中事業に含まれる小事業の方向性(⇒個別事業の概要は裏面)

(千円)

H25小事業名	H25決算値	H26小事業名	H26予算額	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止			
下水道使用料等賦課徴収事業	101,141	下水道使用料等賦課徴収事業の一部	103,141	今後の方向性	A	理由・手法	下水道事業における収支バランスのとれた体系を目指す、適正な収入確保を図るなど事業継続を行う。
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	

中事業の評価(事務事業の課題、取組状況、今後の方向性)

H25年度の課題	下水道使用料のさらなる適正化を検討する。使用料・負担金等における適正な賦課・徴収を行う。下水道接続等調査の効率化を図る。税制改正等に伴う法令整備・システムの対応を行う。										
課題解決のための取組	下水道使用料のさらなる適正化について検討した。使用料・負担金等における適正な賦課・徴収や滞納整理を行った。上下水道一括徴収システムの稼働時間の延長を要望した。延滞金にかかる負担金条例を改正した。受益者負担金・分担金システムのシステムを改修した。					取組の結果	□解決 ■未解決				
未解決の課題	下水道使用料のさらなる適正化を図る。使用料・負担金等における適正な賦課・徴収を行う。下水道接続等調査の効率化を図る。										
中事業の評価	適切=○要改善=△(2面「評価の視点」を参照)			①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○
今後の方向性 (課題解決に向けた取組 ・H26予算への反映)	下水道事業における収支バランスのとれた体系を目指す、使用料・負担金等の適正な賦課・徴収を行い、今後も適正な収入確保を向けて事業継続を行う。						A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止	A ※□事業完了			

評価者名

下水道河川課担当課長 藤木 修
下水道河川課課長代理 戸張 隆

(2面) 小事業・個別事業の評価

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

(単位:千円)

小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
下水道使用料等賦課徴収事業	下水道使用料の賦課を行い、徴収を委託する。下水道事業受益者負担金及び分担金の賦課及び徴収を行う。				○	○	○	○	
	主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△			
		532	事務補助嘱託員報酬 1人	1,029	1,028	○	○	○	○
		532	臨時的任用職員賃金	798	697	○	○	○	○
		532	受益者分担金一括納付報奨金	950	913	○	○	○	○
		532	受益者負担金一括納付報奨金	411	386	○	○	○	○
		532	事務補助嘱託員費用弁償	67	65	○	○	○	○
		532	消耗品費	92	90	○	○	○	○
		532	印刷製本費	259	41	○	○	○	○
		532	下水道使用料徴収事務委託料	92,594	92,409	○	○	○	○
		532	下水道事業受益者負担金・分担金システム改修委託料	0	1,423	○	○	○	○
		532	下水道事業受益者負担金・分担金システムソフトウェア保守委託料	756	756	○	○	○	○
		532	下水道事業受益者負担金・分担金システムハードウェア保守委託料	252	252	○	○	○	○
		532	藤沢市への汚水処理負担金	1,937	1,745	○	○	○	○
532	横浜市への汚水処理負担金	896	896	○	○	○	○		
532	他市への汚水処理等負担金	483	438	○	○	○	○		
※□	532	下水道使用料過誤納返還金	520	2	○	○	○	○	
事業完了									
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	※□								
事業完了									
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	※□								
事業完了									
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	※□								
事業完了									